

## 中野区総合教育会議 次第

- 1 日 時 令和4年(2022年)7月29日(金) 午前11時から
- 2 場 所 区役所7階第8・9会議室
- 3 出席者 (構成員)  
区長  
教育委員会教育長、委員  
(関係職員)  
白土副区長、企画部長、総務部長、子ども教育部子ども家庭支援  
担当部長・教育委員会事務局参事(子ども家庭支援担当)、企画部  
企画課長、総務部総務課長、教育委員会事務局指導室長、区民部  
文化国際交流担当課長
- 4 議 題 中野区教育大綱に盛り込むべき内容について

令和4年度

# 第1回 中野区総合教育会議

議題：中野区教育大綱に盛り込むべき内容について

- 1 前回の総合教育会議
- 2 教育大綱改定の背景
- 3 教育大綱の理念・方針(案・たたき台)

令和4年7月29日(金)

# 1 前回の総合教育会議（令和4年1月21日）

## ■前回の資料（抜粋）

### 3 今後の中野の教育のあり方について

#### －中野の教育が目指すもの－

基本構想の「誰一人取り残されることのない」理念のもと、

- ・ 地域全体で子どもの「生きる力」を育む教育
- ・ 多様性を尊重し、自己肯定感を育む教育
- ・ すべての子どもに、一人ひとりに応じた学力、体力向上を目指す教育

### 基本的な理念と実現するための3つ視点

（理念） 未来ある子どもの育ちを地域全体で支える

- 1 家庭や地域の人財との協働による学校運営
- 2 中野の強みや特徴をいかした学びの連続性
- 3 特色ある学校づくりと地域活動

（キーワード）

- ・ 中野らしさ ・ 多様性の尊重 ・ グローバル化
- ・ 子どもの権利・主体的な学び ・ 対話的な学び
- ・ 国語力、読書力 ・ 伝統、文化教育
- ・ 道徳教育、体験活動
- ・ 社会教育、家庭教育と学校教育の連携
- ・ 保幼小中の学びの連続
- ・ 就学前の早期教育
- ・ 地域への参加

## ■主な発言

### 【生きる力】

- ・ 子どもに「どうなってほしいか」伝えることも重要。
- ・ 学校とともに、地域も活性化していくことが大切である。
- ・ 地域全体に学ぶ場があり、多様な形の学びができることが重要。
- ・ 心身ともにすこやかに成長、ということが大切。

### 【多様性の尊重と自己肯定感】

- ・ 多様性（外国人や、地方出身者、LGBT等）が実感できるのが中野の良さ。
- ・ 多様性の尊重は地域の一員として暮らしていくことが生きる力につながっていく。
- ・ 自分と違う（属性・特性）人に寛容であるという意味も含まれる。（区長）
- ・ 地域での生活については、誰もが地域で活躍できる「多文化共生2.0」を目指したい。（区長）
- ・ 地域全体で他者理解が進むのが「多様性」、自己についても受け入れられながら自己理解が進むのが「自己肯定感」という理念か。
- ・ 特に自己肯定感までは言わず、多様性だけでもよいかと思う。

### 【学力・体力】

- ・ 学校が、楽しく学べ、応用ができるような授業を行えるよう、保障されていることが大事。
- ・ 詰め込み型が古いと言えればよいが。（区長）
- ・ 学力、体力などの〇〇力、という表現は分かりやすい。
- ・ 「学力」はテストのイメージがあるので、「学ぶ力」としてはどうか。「生きる力」との整理が必要。

### 【その他】

- ・ 人財は、地域の多様な人と関われるということである。
- ・ 学びの連続性が大切。中野の特徴的な教育に、さらに地域の特性、地域への貢献の要素が加われば、多様性から学力、体力の向上などにつながっていく。
- ・ 「特色」は全面に出すと競争につながるため、結果として、各々出ればよい。
- ・ 地域と学校が対等で、支援し合いながら、地域を理解していくことが大切。

## 2 教育大綱改定の背景

### 1 基本構想・基本計画の改定

- ・中野区基本構想(令和3年3月改定)「つながる はじまる なかの」  
(誰一人取り残されることのない安心できる地域社会の実現)
- ・中野区基本計画の改定(令和3年9月)

### 2 関連条例の制定

- ・中野区子どもの権利に関する条例制定(令和4年3月)
- ・中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例制定(令和4年3月)

### 3 新型コロナウイルスからの再生と教育活動を支える地域づくり

- ・ICTを活用した教育活動の推進
- ・地域活動の再開と、人と人のコミュニケーションの重視
- ・協働と協創(新たな価値の創造)、新たなチャレンジの応援
- ・多様な学びに対応した環境づくり

### 3 教育大綱の理念・方針(案・たたき台)

#### 【基本理念】

「つながりの中で、誰もが自分らしく学べるまち なかの」  
～学校や地域で、誰もが自分らしく学べる。学びや参加の中で、人と人がつながる。  
そして、つながりの中で、新たな活力が生まれる～

#### 【方針1】 「中野らしさ」を生かした教育を推進する

～「多様性」と「地域のつながり」を強みにした教育を実現する～  
(めざす姿) ・自己と他者への理解が進み、多様性が尊重されている  
・地域とのつながりで、子どもの「生きる力」が育っている  
(方向性) 学校と地域との連携、教育人材の育成等

#### 【方針2】 誰もが「自分らしく」学べる教育を推進する

～全員が参加する社会の実現をめざし、学校・地域での学びを支援する～  
(めざす姿) ・自己肯定感や、チャレンジする力が育っている  
・学び合う心が育っている  
・学びの場を通して社会参加が進み、自分らしく生きられるまちが築かれている  
(方向性) 学校教育及び社会教育、個性を生かした教育の推進等

#### 【方針3】 学びの環境を整備する

～将来にわたって学び続けられるよう、よりよい教育環境を整える～  
(めざす姿) ・学びの場が確保され、誰にも学ぶ機会が保障されている  
・文化・芸術に親しめる環境が整っている  
(方向性) 施設などの着実な整備、多様な学びの場づくり等